

Buildit Actuator サンプルファイルについて

<フォルダ構成>

`pybuildit_tutorial/ tutorial`

チュートリアル用スクリプトが入っています。

ファイル名先頭の番号順に実行いただくと「Buildit Actuator」の使い方が理解できるようになっています。

`pybuildit_tutorial/samples/clock`

時計アプリのサンプルです。

`pybuildit_tutorial/samples/ direct_teaching`

プレイバック機能を実現したサンプルです。

<スクリプトの実行方法>

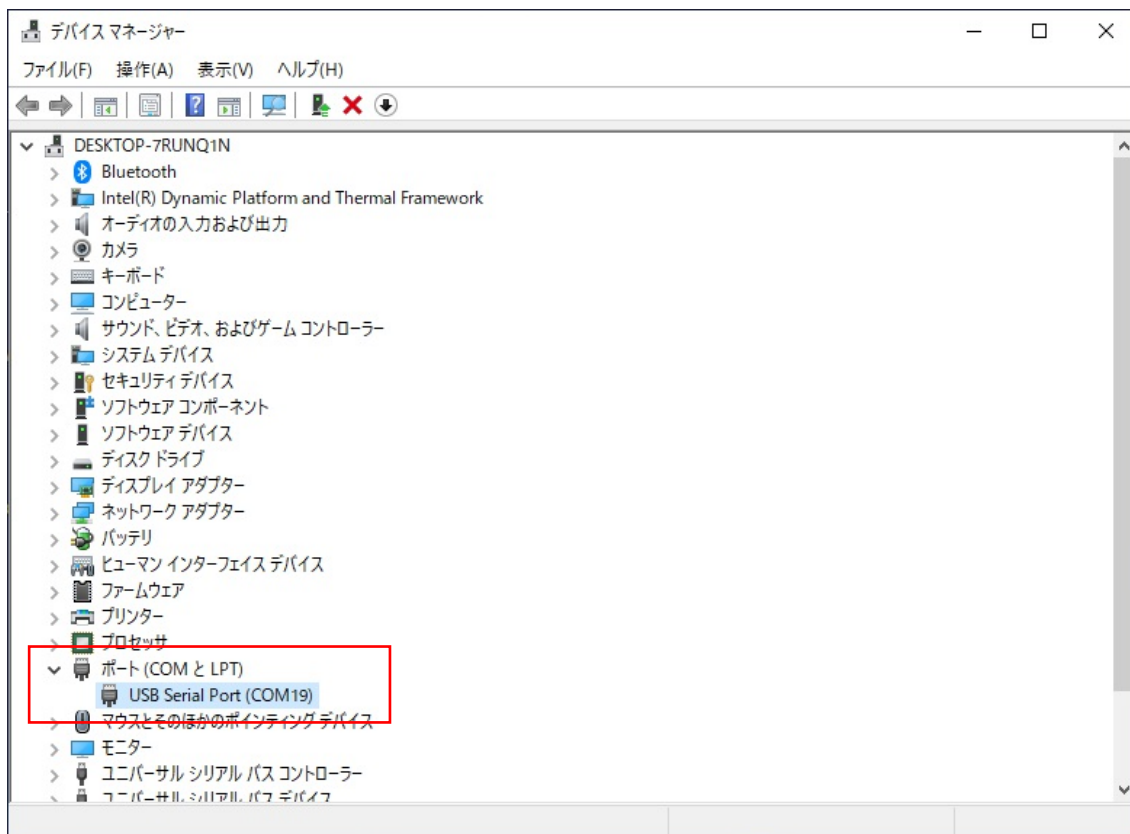
1. Pybuildit パッケージをインストールする

コマンドライン上で「pip3 install pybuildit」を実行する

2. 通信ポートを調べる

Buildit と WindowsPC を接続している場合、コントロールパネルのデバイスマネージャからポート番号を調べる。（ COM+数字の名前になっています。例：COM19 ）

※Linux の場合は、端末上で「ls /dev/ttyUSB*」と入力してデバイスファイルのパスを調べる。



3. 実行する。

- ① スクリプトをテキストエディタで編集し、PORT の値をデバイスマネージャーで調べた値に設定する。

PORT= "COM19"

- ② コマンドラインで実行スクリプトを実行する。

```
python3 tutorial/01_velocity_control.py
```

※ デバイス ID の指定方法 （複数台 Buildit を使うサンプルを動かす場合）

サンプルファイル「set_device_id.py」を使うことで、デバイス ID を変更することが出来ます。詳細は、サンプルファイルをご確認ください。